

## 1 基本方針

- (1) 戦略プログラム予算への重点配分・3本の柱
  - 健康で安心して暮らせるまちづくり
  - 子育てしやすいまちづくり
  - 災害や危機に強いまちづくり
- (2) 第3次行政改革大綱（チャレンジプラン 2010）に基づく2本の柱
  - 自律的な予算編成
  - 自主財源の確保

## 2 編成方針

社会保障費などが増加する中、一般財源総額について  
「平成 22 年度当初予算以内」を目標とする部局別枠配分（H23 方式）

- (1) 経常的経費（一般財源額）
  - ① 努力して削減可能な経費 ⇒ マイナス 10%として枠に反映
  - ② 補助金・交付金 ⇒ 原則一律マイナス 10%として枠に反映
  - ③ 残業 0（ゼロ）運動効果 ⇒ 人件費以外の経常的経費枠への振替
  - ④ 新規事業（経常） ⇒ 1スクラップ&1ビルドの徹底
- (2) 政策的経費  
実施計画ヒアリングに基づく通知額 ⇒ 財源計画に基づき抑制
- (3) 自主財源確保
  - ① 市税等の収納率の向上
  - ② 使用料・手数料の自主的見直し（22年実態調査を踏まえて）
  - ③ 創意工夫による新たな財源の発掘（インセンティブ予算へ）
- (4) その他
  - ① 「負担金」総額の抑制 ⇒ 目標マイナス 5%
  - ② ゼロ予算事業 ⇒ 引き続き取り組む

## 3 その他

組織・機構の見直しと活性化により、安定的な財政経営を実現